

# つなぎあつて元気に

38

2012 9月号

都市計画道路(白光中南側道路)

## 長溝線アンダーパス開通

9日午後5時、JR鹿児島本線と西鉄天神大牟田線を渡る道路のアンダーパス(地下道)がやっと完成しました。開かずの踏切といわれた渋滞が緩和し、市街地の東西の分断が解消することになります。交通の利便性が増すことで地域活性化につながることを期待されています。



開通式はトンネル内の車道で行われました。オープニングアトラクションでは、日の出保育所の園児さんによる元気な鼓笛が披露されました。

## 元気な一〇六歳

しいのみ学園の昇地三郎先生  
健康づくり市民大会で講演!

赤いマントでさっそうと登場し、パソコンを使って講演されました。健康の秘訣は一口三十回噛むこと、腹八分、特製の棒による棒体操、乾布摩擦、そして、笑顔、「私のそばにはなぜか美女が寄ってくる」などと会場を楽しませ、最後に包みながら元気に講演され、最後には黒田節の踊りまで披露されました。出身大学の師でもある先生の楽屋にも厚かましく押しかけお話を伺いましたが、先生の類は側で拝見しても本当につやつや! 7月16日から32日間「公共交通機関を利用して世界一周をした高齢者」としてギネス世界記録にも認定されたとのこと。驚きのスーパーマンです。



**平山光子後援会**  
事務所  
大牟田市原山町1-5  
0944-53-1661  
自宅  
大牟田市倉永1651  
0944-58-1252  
メールアドレス  
mitsuko2007@tng.bbq.jp  
ホームページ  
www.mitsuko-hirayama.net

約280人の来場者に講演される坂上義博さん

於:文化会館小ホール



## 原発作業員の証言

9月1日 原発問題学習会  
「真実と悲しみと怒り」  
元原発作業員 坂上義博さんを招いて

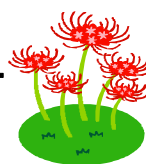


会場の質問にも答えて...

福島第一原発立地町大熊町の住民、今避難生活中の会津若松市から来ていただきました。一緒に視察した竹山さんの司会進行で、初めに、私から福島第一原発調査団の報告を行ったあと、坂上さんの講演。時折東北弁も交えながら、穏やかに、でも、とても深刻な福島の実情を話してくださいました。講演後のアンケートも135通寄せられ、「生の声が聞けて良かった。福島の実実に愕然とした」、「東電や政府、そして真実を伝える」という報道に怒りを覚える」、「原発の恐ろしさを改めて感じた」といった声が多く寄せられました。また、坂上さんが進めておられる大熊町住民の会への募金を呼びかけたところ、5万9千円を超える浄財が参加の皆さんから寄せられました。

# 光子の部屋

2012 9月号



## 2012年度前期 主な活動報告



4月24日～25日 自治体議員女性政策研究会 参議院会館

北海道から沖縄まで、全国の自治体女性議員約60人が参加しました。改正介護保険法、フィンランドの子育て、子ども子育て新システムについて研修し、活発に意見交換を行いました。福岡県から参加した仲間の女性議員、中央は福島みずほさんです。

5月12日 平山光子後援会春の集い 吉野地区公民館

友人の古池さんの司会で進みました。小郡市議の新原善信さんや若い保護者の久保さん、同級生の古賀さん、教職員の林さんから温かい励ましの言葉もいただきました。



6月議会で代表質問を行いました。（詳細は前号に）

7月12日 6人の女優さんによる「夏の雲は忘れない」公演

大牟田では3回目の上演です。実行委員として参加しました。毎回、詩の世界に引き込まれ、原爆で大切な人を失った悲しみ・痛みに圧倒されます。地元の5人の中・高生も出演し、心のこもった素晴らしい朗読を披露してくれました。

8月10日 市政報告会 久福木公民館 サロン活動参加

元気な先輩方が多数集っておられました。大牟田のまちづくりという題で、議会の役割や、市が力を入れている事業について話しをさせていただきました。久福木では、サロンの運営を担っておられる皆さんが、先輩から若い世代へとうまく連携しておられました。

9月8日には、八咫町公民館でも行いました。



8月25日26日 自治体議員政策情報センター全国政策研究会in福岡

双葉町長の井戸川克隆さんが悲惨な福島の実況を、自然エネルギーを推進しておられる飯田哲也さんが、取り組みの概要や、このような事故を繰り返さないためにも、主体性を持って行動すべきと訴えられました。分科会では、大牟田市の高齢者福祉の取り組みも発表していただきました。福岡県が実行委員として頑張りました。